



ヴィンテージサウンドのウェブサイトトップページ。真空管選びに一家言ある佐々木代表のコラムが興味深い

代表の佐々木英明氏(左)と真空管評価を手掛けるレコーディングエンジニアDr.Subsonic(藤原敬)氏。この2人のチームで膨大なサンプルが制作されている。音の評価は藤原氏のみが行い、佐々木氏が参与しないのは、評価に客観性を持たせるため



ヴィンテージサウンド www.vintagesound.jp

ネットでできる真空管聴き比べ

試聴してから購入できる真空管販売店は少ない。多くの真空管は、買って音を聴いて初めて音がわかるので、買った真空管が好みの音でなく、無駄な出費になることも少なくない。

真空管専門のネット通販店ヴィンテージサウンド(合資会社ささき)は、ブランドごとの真空管の音、それも電圧増幅管と出力管を組み合わせた音を高音質のデジタルデータ化して評価し、ユーザーの真空管選びのガイドとするというユニークなサービスを2009年から展開している。

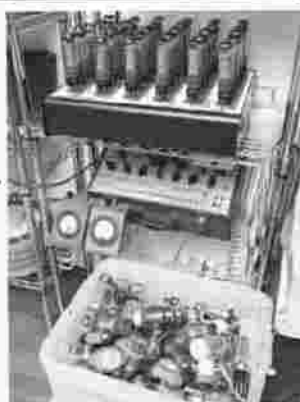
今のところはギターアンプ向けに12AX7とEL34の組み合わせのみ600サンプルがアップされている。エレキギターの音(クリーントーンと歪んだ音)をサンプルとして使っているのも、ビュアオーディオにそのまま当てはめることは難しいが、クリーントーンを聴けば、それぞれの音の傾向を知ることができるので、オーディオアンプ用の真空管選びにも活用できる。もちろん、ユーザーの再生環境によって音質は変わるので相対評価だが、しっかりした再生装置(ヘッドフォン推奨)を使えば音の差は歴然だ。

代表の佐々木英明氏はライフワークとしてこのシステムをさらに充実させ、EL34以外の管種やビュ

真空管聴き比べの評価画面。各真空管(電圧増幅管と出力管)の傾向がレーダーチャートで表示され、さらにDr.Subsonicのコメントがある。再生ソフトはリアルプレイヤー(無料)



傍熱管用エージング装置。取材時にはEL34がエージングされていた。この時点で初期不良が発見できるので、不良品による返品は皆無になった



オーディオ用のサンプルも揃えていくとのこと。現在はKT88のサンプルを制作中だ。

同社はこれらのサービスによって、単なる真空管販売サイトを脱却し、ユーザーが求める音にたどり着くためのアドバイスまでを含めた「プロデュース型」の販売店を目指している。そのために「真空管ヘルプデスク」(フリーダイヤル0120-194-380)を設けており、さまざまな相談に応じている。聴きたい音楽のジャンルや手持ちの機材、音に関する不満や悩みを聞いたうえで、適切な真空管を提示する。

選別とエージング

同社では、販売する真空管すべての測定を行っており、例えば双3極管の各ユニットの μ を指定するような注文もできる。これは歪みを重視するギターアンプのためには有益で、オーディオ用としてもステレオの左右の特性が揃うなどのメリットがある。

また、12時間から72時間まで4段階のエージングを行っている。これは音質の面だけでなく、初期不良の発見という大きなメリットがある。さらに、エージングの長さによって30日から210日の保証がある

FBサウンド田無(株式会社田無タワー)
〒188-0014 西東京市芝久保町5-8-2
TEL 042-452-0038 FAX 042-452-0058(平日9:00~17:30)
ヴィンテージサウンド(合資会社ささき)
〒198-0042 青梅市東青梅2-16-70GYビル1F
フリーダイヤル0120-194-380(10:00~22:00)
FAX0428-20-5173